

外国語科 学習指導案

1. 日 時 令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇時限

2. 学年 第1学年

3. 科目・単元(題材)名 英語コミュニケーション I

Lesson 8 Wearable Robots May Change Our Life

使用図書は、教科書：FLEX ENGLISH COMMUNICATION I (増進堂)

4. 単元(題材)の目標

【知識及び技能】

ロボット販売のプレゼンテーションを英語で行う際に使用する語彙、表現、文法事項(仮定法過去、仮定法過去完了)、生活支援ロボットに関する知識を理解するとともに、それらを活用できる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

生活支援ロボットに関する知識を踏まえ、新たにどんなロボットが必要かを考案し、その実用性を英語で伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

自ら考案したロボットの実用性について、相手に配慮しながら英語でコミュニケーションを図ろうとする。

5. 教材観

この単元では、HALというロボットスーツの特徴や、HALを開発した山海嘉之氏の半生を通して、「諦めずに目標を追求することの大切さ」というテーマを理解することが重要である。

また、単元の締めくくりとして、自分自身や社会にとって必要だと考える新たなロボットのアイデアを生み出し、発表活動を行う。教科書で学んだことを踏まえて、自らの思考を凝らし、聞き手を十分に意識した発表を行うことを求めている。

6. 生徒観

(省略)

7. 指導観

- ・HALというロボットスーツの特徴や、山海氏がHALを完成させるまでの過程、山海氏のロボット研究に対する思いを読み取れるようにする。
- ・「自ら考案したロボットの良さを広めるために宣伝する」という場面設定を明確に伝え、活動の意義を十分に理解した上で発表活動に取り組めるようにする。
- ・ポスター制作時や発表時において、聞き手に理解してもらいやすいようなわかりやすい英文の使用に加え、非言語コミュニケーションの使用も促す。
- ・英文や発表の仕方を適宜改善できるように、発表を行う機会と他者の発表を聞く機会を繰り返し設定する。
- ・自分の学習の成果や気づき、今後の課題などを考えさせるために、振り返りの機会を設定する。

8. 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・情報や考えなどを理由とともに伝え合うために必要となる語句や文を理解している。 ・日常生活に役立つロボットについて、情報や考えなどを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	・クラスメートに「買いたい」と思ってもらえるように、自らが考案したロボットについて、必要な情報や自らの考えなどを、理由や具体例とともに話して伝えている。	・クラスメートの作品と自分の作品を比較、検討し、自分の作品を振り返って改善しようとしている。

9. 単元（題材）の指導と評価の計画（全8時間）

（ ●：形成的評価、○：総括的評価 ）

時	学習内容	評価の観点			主な評価規準【観点】（評価方法）等
		知	思	主	
第1・2時	Part 1 ・新出単語を理解する。 ・本文の主旨を理解する。 ・文法等、表現を確認する。 ・本文を音読する。 ・本文に関するQ&Aを解く。 ・本文内容のリテリングを行う。 ・本文の要約を完成させる。	●	●		・文章を読み取るために必要となる表現、仮定法過去の働きを理解している。【知】（観察） ・HALについての説明文を読み取る技能を身に付けている。【知】（観察） ・HALについての情報を、具体例とともに話して伝えている。【思】（観察）
第2・3時	Part 2 ・新出単語を理解する。 ・本文の主旨を理解する。 ・文法等、表現を確認する。 ・本文を音読する。 ・本文に関するQ&Aを解く。 ・本文内容のリテリングを行う。 ・本文の要約を完成させる。	●	●		・文章を読み取るために必要となる表現、文法の働きを理解している。【知】（観察） ・介護の現場で使用されているHALの事例についての説明文を読み取る技能を身に付けている。【知】（観察） ・HALについての情報を、具体例とともに話して伝えている。【思】（観察）
第4・5時	Part 3 ・新出単語を理解する。 ・本文の主旨を理解する。 ・文法等、表現を確認する。 ・本文を音読する。 ・本文に関するQ&Aを解く。 ・本文内容のリテリングを行う。 ・本文の要約を完成させる。	●	●		・文章を読み取るために必要となる表現、文法の働きを理解している。【知】（観察） ・山海氏の半生についての文章を読み取る技能を身に付けている。【知】（観察） ・HALの開発に至った山海氏の考えを理由とともに話して伝えている。【思】（観察）
第5・6時	Part 4 ・新出単語を理解する。 ・本文の主旨を理解する。 ・文法等、表現を確認する。 ・本文を音読する。 ・本文に関するQ&Aを解く。 ・本文内容のリテリングを行う。 ・本文の要約を完成させる。	●	●		・文章を読み取るために必要となる表現、仮定法過去完了の働きを理解している。【知】（観察） ・ロボット工学の意義についての文章を読み取る技能を身に付けている。【知】（観察） ・山海氏が考案したロボットについて、情報や考えなどを理由や具体例とともに、話して伝えている。【思】（観察）

第7時	【教科書本文のまとめ】 ・本文全体に関するQ&Aを解く。 ・本文全体の要約を完成させる。 【パフォーマンス課題の準備】 テーマ：Sell your robot! ・パフォーマンス課題の趣旨と説明を聞く。 ・教員の発表例を聞く。 ・ロボットのコンセプトや特徴をワークシートに箇条書きで記入する。	●	○	・文章を読み取るために必要となる表現、文法の働きを理解している。【知】（観察） ・ロボット工学の意義についての文章を読み取る技能を身に付けている。【知】（観察） ・自らが考案したロボットやその実用性について、必要な情報や自らの考えなどを、理由や具体例とともに書いて伝えている。【思】（机間指導、ワークシート）
第8時（本時）	【パフォーマンス課題】 新たなロボットを自ら考案し、制作したポスターを用いて宣伝する。 ①宣伝ポスター制作、②原稿作成、③個人練習、④相互プレゼンテーション、⑤振り返りシート記入（活動詳細は「11.（4）本時の学習過程」を参照）	●	○	○ ・単元を通して学んだ語彙、表現、文法事項を使って、宣伝の原稿を英語で書くことができる。【知】（観察） ・自らが考案したロボットやその実用性について、必要な情報や自らの考えなどを、理由や具体例とともに話して伝えている。【思】（観察、*録画） ・クラスメートの作品と自分の作品を比較、検討し、自分の作品を振り返ってプレゼンテーションを重ねるたびに改善しようとしている。【主】（観察、*録画、ワークシート、振り返りシート） *1人1台端末を利用して、ペアで録画し合う。

※知識・技能の総括的評価については、定期考査において行う。

10. 本時の展開

（1）本時の目標

- ・単元を通して学んだ英語の特徴やきまりに関する事項を理解する。
- ・自らが考案したロボットについて、必要な情報や自らの考えなどを、理由とともに話して伝える。
- ・クラスメートの作品と自分の作品を比較、検討し、自分の作品を振り返って改善しようとする。

（2）本時の評価規準

- ・単元を通して学んだ英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。【知】
- ・自らが考案したロボットについて、必要な情報や自らの考えなどを、理由や具体例とともに話して伝えている。【思】
- ・クラスメートの作品と自分の作品を比較、検討し、自分の作品を振り返って改善しようとしている。【主】

（3）本時の準備物

授業用スライド、1人1台端末、プロジェクター、スクリーン、ワークシート、振り返りシート

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
導入 5分	・ 本時の目標を確認する。 ・ パフォーマンス課題の説明を聞く。 ・ 本時の流れを確認する。	本時の目標を明確にする。 スムーズに本時の活動を進められるように様子を見る。	
展開 40分	①宣伝ポスター制作（個人ワーク） 前時で作成した素案をもとに、自ら考案した新しいロボットを宣伝するポスターを制作する。（ワークシート） ②原稿作成（個人ワーク） ポスターに沿ったプレゼンテーションの原稿（メモ程度）を考える。 ③個人練習 個人でプレゼンテーションの練習をする。 ④相互プレゼンテーション 2～3人のグループを作り、考案したロボットのプレゼンテーションを行う。 新たに2～3人のグループを作り、同様にプレゼンテーションを行う。（同様に3～4回行う） プレゼンテーションを聞いた中で1番「欲しい」、「社会に必要だ」と思ったロボットの考案者にFree Robot Ticketを渡す。	長文ではなくキーワードや短文で書き、イラストも用いて、読み手がすぐに内容を読み取れるポスターを制作するように指示する。 支援が必要な生徒に対しては、教員が作成した英文の例を示し、自分で書けるように練習させる。 英語の音声等を流して、声を出しやすい環境を作る。 聞き手を意識し、アイコンタクトやジェスチャーを用いて伝えるように指示する。 聞き手がこのロボットを「欲しい」、「社会に必要だ」と思ってもらえるようなデリバリーをするように伝える。 多くの Free Robot Ticket を得た人を“Best robot creators”として紹介する。	単元を通して学んだ英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。【知】（観察） 自らが考案したロボットについて、必要な情報や自らの考えなどを、理由や具体例とともに話して伝えている。【思】（観察、*録画） クラスメートの作品と自分の作品を比較、検討し、自分の作品を振り返って改善しようとしている。【主】（観察、*録画、ワークシート、振り返りシート） *1人1台端末を利用して、ペアで録画し合う。
まとめ 5分	重要な表現を再確認する。 振り返りシートに、自己評価と他の人のプレゼンテーションを聞いて良いと思った点を記入する。	振り返りの記述の箇所をしっかりと書くように言葉がけをする。	学習の成果と気づきや、今後に向けた課題が書けている。【主】（振り返りシート）

(5) 「観点別学習状況の評価」の判断基準の設定

○「思考・判断・表現」についての三つの条件

条件1：自ら考案したロボットの紹介をしている。

条件2：考案したロボットの利便性を述べている。

条件3：考案したロボットの使用例を述べている。

評価規準	「十分満足できる」状況 (A)	「概ね満足できる」状況 (B)	「努力を要する」状況(C)と 判断する生徒への支援のてだて
思考・判断・表現	三つの条件を満たした上で、原稿をほとんど見ずに詳しく述べて伝えている。	三つの条件を満たしながら話して伝えている。	教員が作成した英文の例を示し、自分で書けるように練習させる。
主体的に学習に取り組む態度	クラスメートの作品との比較などにより、自分の作品の改善点を見いだして作品に生かしている。	クラスメートの作品との比較などにより、自分の作品の改善点を見いだしている。	クラスメートの作品との違いに気付かせるような問いかけをする。